

としょ
図書だより 12月号
七尾市立東湊小学校 発行：司書 松田

先月、東京に「魔法の文学館」という図書館が新しくオープンしました🍓
「おばけのアッチ」や「魔法の宅急便」の作者、角野栄子さんが館長を務める図書館です。なんと、この図書館では、本を借りられません。1日で読み終わる長さの本しか置いていないのです。そこには、「読み終えた帰りの道、いろいろ想像してほしい」という角野館長の思いが込められているそうです。この図書館についてもっと知りたい人は、図書室にある「読売KODOMO新聞」を読んでみてくださいね。もちろん、角野栄子さんの作品も図書室でたっぷり読めますよ。
「魔法の文学館」で本の貸し出しはありませんが、学校図書館では冬休みに読む本を貸し出します。冬休み中も東湊っこがすてきな読書時間を過ごせますように。

参考：魔法の文学館(江戸川区角野栄子児童文学館) ホームページ
読売KODOMO新聞 2023.11.23号

冬休みに読む本の貸し出し

12/15 借っている本を全部返します
※読み終わってなくても返します

12/18~20 冬休みに読む本を借ります

1/9~ 冬休みの本を全部返した人から
3学期の貸し出しスタート

冬休みは5冊借りられます。夏休みに行った「うちどくノート」の
取り組みを冬休みにも行います。
うちどくノート1冊分(5冊)、
読んでみてくださいね。
※12月の「わくわく読書」はありません。

とっぜん
突然ですが、おなたの読書のおきの1冊を教えてください！
いつも休み時間に図書室に来てくれる熱心な読書家さんに突撃インタビュー！

<p>1年生 田畑りおさん 「たえあいましょうがっこう てんのない につき」宮下すすか作 市居みか絵 くもん出版</p> <p>プレゼントしたのは絵かな？ハエかな？あわてんぼう のツナくんのおはなし。1年生にぴったりの1冊です。</p>	<p>2年生 黒土はるなさん 「あめだま」ペク・ヒナ作 長谷川義史訳 ブロンズ新社</p> <p>ふしぎなあめだま。ひとつ食べると…まるでアニメーション をみているようなファンタジーの世界が広がります。</p>	
<p>2年生 竹田ゆうみさん 「からだのなかのびっくり事典」奈良信雄監修 こざきゆう文 加納徳博絵 ポプラ社</p> <p>ゆうみさんから「この本を読んだら、なぜ筋肉痛になるのか これまではあまり知らなかったか体のことがわかったよ！」</p>	<p>4年生 中島ゆずかさん 「しりとりボクシング」新井けいこ作 はせがわはち絵 小峰書店</p> <p>ゆずかさんから「ライバルに勝つために いろいろな単語を覚えるところがおもしろいよ</p>	
<p>4年生 金岡かえでさん 「怪盗レッド」秋木真作 しゅー絵 KADOKAWA</p> <p>かえでさんから 「おすすめは14巻！続きがとっても気になる！」</p>	<p>4年生 中島にこさん 「ちょっとこわいメモ」北野勇作著 森本晃司画 福音館書店</p> <p>にこさんから「最初のクマガズーっと…じわじわこわい！」</p>	
<p>4年生 品川さえさん 「10歳までに読みたい世界名作 あしながおじさん」 J.ウェブスター作 小松原宏子編訳 学研プラス</p> <p>さえさんから「え！？予想外のラストにびっくり！」</p>	<p>5年生 金岡さくらさん 「魔女だったかもしれないわたし」エル・マクニコル著 榎田理絵 PHP研究所</p> <p>いろいろな人が登場します。自分ならどの立場だろうかと 考えながら読んでほしい、高学年向けの物語です。</p>	
<p>石垣先生 「窓ぎわのトットちゃん」 黒柳徹子著 いわさき ちひろ絵 講談社</p> <p>トットちゃんとそのお友達 がのびのびと成長していく 黒柳徹子さんの自伝的小説</p>	<p>出島先生 「文通小説」真島めいり著 柊有花絵 講談社</p> <p>出島先生から 友達とのモヤモヤ…自分の 将来など、考えさせられま す。絶対読むべし！</p>	<p>● 新しい本も入りました ●</p> <p>「かがみの孤城 上・下」 辻村深月著 ポプラ社</p> <p>「学研まんががでよくわかるシリーズ 空気のひみつ」 「文春まんが」読みとくシリーズ ショートケーキここが知りたい！</p>

ぜひ、冬休みの本選びの参考にしてください。協力してくれたみなさん、ありがとうございました。
※著作権の都合上、一部書影は掲載していません。